

1 単元名 くらしにかかせない水

2 目標

- (1) 生活で使われている水に関心を持ち、見学や調査活動を通して、飲料水の確保について意欲的に調べようとする。(関心・意欲・態度)
- (2) 飲料水の確保が組織的・計画的に進められていることによって、地域の人々の健康な生活の維持と向上が図られていることを考えることができる。(思考・判断)
- (3) 飲料水の確保の方法について調査したり見学したりしてわかったことを絵、グラフ、文章などにわかりやすくまとめることができる。(技能・表現)
- (4) 地域の人々の住みよいくらしを支えるために、飲料水の確保が組織的・計画的に行われていることを理解することができる。(知識・理解)

3 指導にあたって

本単元は、学習指導要領の第4学年内容(3)「地域の人々の健康で住みよいくらしを守るために、廃棄物の処理や飲料水の確保について理解し、地域社会の一員としての自覚をもつ。」ことに関連する。ここでは、地域の人々の生活にとって必要な飲料水の確保について、見学したり調査活動をしたりして調べ、この対策や事業は地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを考えることがねらいである。

児童は、これまで朝の読書活動で書き記した本の中から「すすめたい1さつの本」を友だちの前で発表したり、友だちから質問を受けたりする意見交流の場を行ってきた。その結果、自分の思いを「表現」し、人に「伝える」ことの楽しさを味わってきた。また、4年生の「ごみの処理と利用」の学習を通して、くらしの中のごみの種類や量を調べて表にまとめたり、ごみ処理について清掃センターの見学や調査活動をしたりして、事業が組織的・計画的に行われていることを考える学習を行ってきた。その結果、徐々に調べ方やまとめ方などの学習の仕方が身に付いてきた。しかし、児童は、テキストの内容や表現を吟味・検討したり、その妥当性や客観性、信頼性を評価したり、自分の知識や経験と結び付け建設的に批判したりする読みの力を高めることがまだ不十分であると考え

そこで、本単元の指導の重点は、次の3点とする。

地域の素材「中郷浄水場」や「北茨城市浄化センター」を教材化し、地域の人々と触れ合う学習活動を展開することで、生活で使われている水に関心をもたせる。

地域研究をもとに作成した教師の自作テキスト(の資料)を学習前に配布し、これらの資料を学習の中で正しく読んだり、教科書や副読本と比較し、建設的に批判したりして読みの力を高める。



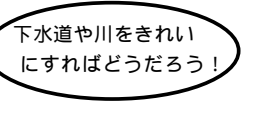
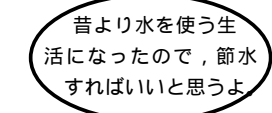
学習計画表を活用しながら、全体の学習計画を見通したり、学習を振り返る活動を位置付けたりして、児童の課題に対する追究意欲を高め、学校と家庭との学びへの連続性を図る。

4 学習計画(14時間取り扱い)

時	学習活動	評価の観点
	わたしたちのくらしの中で、水はどのように使われているのか考える。 学習計画を立てる。 わたしたちは1日にどれくらいの水を使っているのか調べる。	・生活を振り返り、水は生活に欠かせないことに気づき、くらしで使われている水について進んで調べようとしている。(関心・意欲・態度) ・具体的な作業を通して、たくさんの水が使われていることをとらえている。(思考・判断)
	水の通り道をたどって、学校内の上水道設備を調べる。 使った水はどこに行くのか、学校内の下水道設備を調べる。	・学校で見られる上水道に関する設備を実際に調査活動している。(表現・処理) ・学校で見られる下水道に関する設備を実際に調査活動している。(表現・処理)
	中郷浄水場で調べたいことをまとめる。 北茨城市浄化センターで調べたいことをまとめる。	・自分の課題を決め、学習の計画を立てようとしている。(関心・意欲・態度)
	中郷浄水場の見学を通して、水がどのようにしてきれいで安全な飲料水になるのか調べる。 北茨城市浄化センターの見学を通して、環境を守るために川をきれいにする工夫や努力を調べる。	・浄水場や浄化センターの見学を通して、水をきれいにするしくみや人々の働きについて調べている。(表現・処理)
	調べてきたことを絵、グラフ、文章などでわかりやすくまとめる。	・浄水場や浄化センターを見学したり、調査活動をしたりしてわかったことを、新聞にわかりやすくまとめている。国語科や総合との関連を図る。(表現・処理)
	地図やパンフレット、テキスト等を使って大津町の水は、他地域の理解と協力によって確保されていることを知る。 わたしたちが使っている水は、どこから来て、どこへ流れていくのか考える。	・大津町の水は、他地域である花園川流域の人々の理解と協力によって確保されていることを理解している。(知識・理解) ・地図やパンフレット、自作テキストの資料を活用して、水の流れをたどり、水源を守る努力をしている人々の働きを考えている。(思考・判断)
本時	水を大切に使うために、わたしたちはどんな工夫をすればよいか考える。 学習のまとめをする。	・水の有効利用のために自分には何ができるのか様々な視点から考えている。(思考・判断)

5 本時の学習

- (1) 目標 教科書や副読本,パンフレット,テキスト等を活用したり,G Tの話を聞いたりしながら,水の有効利用のために自分には何ができるのか様々な視点から考えることができる。
- (2) 資料・準備
 学習計画表 掲示用パネル テキスト
 提示用パネル パンフレット(各施設で配布されたもの) 聞き取り・調査資料
- (3) 展開

学習活動・内容	資料	支援(個への支援)と評価(評)
<p>1 今までの学習をふりかえり,本時の学習活動の見通しを立てる。 浄水場や浄化センターでの調査や見学を通して,自分たちの暮らしをささえる水について調べた。</p> <p>2 学習課題をつかむ。 (1) 教科書と北茨城市の一人当たりの水の使用量のグラフをくらべて,分かることを発表し合う。 ・福岡市は減っている ・北茨城市は増えている ・福岡市は水を大切にしている</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 水を大切に使うために,わたしたちはどんなくふうをすればよいか考えよう。 </div> <p>(2) どんな工夫をすればよいか,予想を立てる。</p> <p>3 教科書や資料をもとに,自分たちでできる水を大切にする工夫を話し合う。 (1) 自分でできる節水方法について ・食器洗い ・歯磨き ・洗濯 ・洗車等 (2) G Tの話を聞いて,水を再利用している施設や設備,そのしくみ,また水を大切にするための人々の努力や願いを知る。 (3) 水が地球を循環していることを知る。</p> <p>4 資料やこれまでに学習してきたことを基に,水を大切にするための生活の仕方について話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>雨水をリサイクルして使うのは,どうかな?花に水をかけるとか!</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>きっと,森を大切にすれば,水を守ることになるね。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>下水道や川をきれいにすればどうだろう!</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>昔より水を使う生活になったので,節水すればいいと思うよ</p> </div> </div> <p>5 本時の反省と次時の学習内容,予習内容(次時の学習のためにやっておきたいこと)を確認する。 ・次時は,まとめのテストである。 ・教科書やノートの見直しをする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を振り返らせるために,学習してきた内容に関する資料をパネルで掲示し,学習してきた事項を全体で確認する。 ・グラフから自由に発表するよう助言する。また,増えただけではなく,なぜ増えたかという理由まで確認する。 ・本時の学習課題を板書し,それをノートに書かせることで,学習課題を明確にする。 ・本時の学習に関心をもたせるために,自分なりの予想を気付きの欄に書くよう助言する。 ・教科書の写真や自分が調べてきた資料,自分の生活体験をもとに,グループ内で自由に発表するよう助言する。 <p>たくさんの児童の考えを引き出させるために,テキストにある資料等を提示して補足する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が様々な視点から考え,たくさんの意見を出すように,G Tが各グループの話し合いの中に入り,アドバイスをする。 ・いろいろな視点で考えられるようにするため,グループの話し合いから全体の話し合いに切り替える。 <p>考えがあるのに発表できない児童には,意図的指名をしたり,挙手による意思表示を促すよう促したりして支援する。</p> <p>(評)水の有効利用のために自分には何ができるのか様々な視点から考えている。 (思考・判断)【発表・ノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返らせるために,学習計画表に思ったことや考えたことなどの記入を促す。 ・次時の学習内容を理解させるため,学習計画表をもとに確認するよう助言する。 ・次時の学習までにやっておきたいことを学習計画表を使って確認するよう促す。